

はしがき

グローバル会計学会会長 菊谷 正人

コロナ禍のピークが終息しているので、第6回研究大会は対面式で大阪商業大学（準備委員長：岩崎 勇教授）において令和5年7月15日（土）に開催された。ただし、午前の学会賞選考委員会は、その重要性を鑑み、対面・オンラインのハイブリッド形式で開かれた。研究報告大会終了後には、希望者に限り、梅田駅近くのイタリアンレストランに移動して懇親会を催し、旧交を温めた。

第6回研究大会においても、多様な研究テーマ（国際財務会計、人的資本会計、暗号資産会計・税務）が報告され、建設的な質問による活発な質疑応答が展開された。濃密な討論を通じて、当該研究テーマが包括的・多面的・学際的に深耕できたものと思われる。

今大会の理事会の決議により、若い研究者の研究奨励のために学会奨励賞を設け、初めて受賞者を輩出することができた。審査対象となる著書・論文の発刊または公刊の時点で、修士課程の修了後または博士後期課程単位修得後、8年未満の若手研究者の業績を顕彰することを目的として、学会賞とは別に、学会奨励賞を設けることになった。若い研究者の研究の励みになることができるならば、会長として幸甚である。